

放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和4年8月

事業所名：放課後等デイサービスIRISA

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係と適切であるか	○			利用定員に対して指導訓練室の広さは十分取れています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置数は適切に配置されています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		指導訓練室が2階にあり、階段しか設置されていないため、バリアフリーを必要とする利用児童はいません。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			午前中の全体ミーティングにて、業務改善を進めるためのPDCAサイクルに全職員が参画している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回初めて保護者向けアンケート調査を実施しました。保護者等の意向等について、業務改善へつなげていきます。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自社ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者による評価は実施していません。今後、導入するか検討中です。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修等の機会を確保しているか	○			外部講師による研修を毎月実施しています。主に療育活動の質の向上を目的としていますが、障がい特性への深い理解を得るための研修なども開催しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成している	○			定期的に保護者面談を実施し、保護者のニーズや現状の課題等をうかがいながら計画の策定を行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		導入は行っていないが、一部の保護者が定期的にツールを活用し、結果を事業者へ報告してくれています
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムの大きな流れについては全職員で話し合いながら決め、細かな部分については各担当職員がリーダーとなり、プログラムの最終立案を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日ごとに活動プログラムは固定していますが、活動内容については利用児童の状況に応じて工夫して取り組んでいます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			サービス提供時間の長さによって、目的やねらい細かく決めて、活動内容を設定しています。

適切な支援の提供

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本は集団療育がベースとなりますが、利用児童の状況に応じて個別療育を主体とする場合もあります。一人ひとりの状況と課題に合わせて放課後等デイサービス計画を作成しています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			午前中の全体ミーティングにて前日気になったことの共有、当日の送迎と支援内容の確認を行っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			各職員の退勤時間が異なるため、終礼は行わず振り返りが必要な事案についてはLINE WORKSを活用して全体共有しています。翌日午前中の全体ミーティングにて前日の振り返り等を実施しています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録についてはサービス提供時間終了後、利用児童を主に担当した職員がその日の内に記録を付けています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを実施しています。また相談支援事業所の相談員とも連携を取り、放課後等デイサービス計画の見直しについて判断しています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			自立支援のための活動を中心に、創作活動や日常生活を充実させるための活動を組み合わせて支援を行っています。余暇の提供として利用児童がリラックスしながらも楽しむことができる多彩な活動も行っています。
⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には管理者もしくは児童発達支援管理責任者が一人、利用児童を担当している職員が一人、計二人で参画しています。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		管理職や担任により、関りがある場合もあればない場合があります。下校時間の確認については必要が生じた際は、速やかに行っています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現時点で医療的ケアが必要な児童の利用はありません。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に務めているか			○	現在は就学前利用施設との連携がないため、今後は利用前や利用後に情報共有する場を設けていきたいと考えています。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現時点で該当ケースはありませんが、出てきた際は情報提供等を図るなど、関係機関と連携するよう考えています。
㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センターの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	現時点で助言や研修を受ける機会がありませんでした。機会があれば積極的に受けよう取り組んでいきます。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	現在まで行ったことがありません。コロナ感染症拡大予防の観点からか、イベント等が軒並み中止となっています。

	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			可能な限り積極的に参加させていただき意見交換や情報交換を行っています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話連絡、システムを介した連絡、個別面談等を通して情報共有しています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			○	現在まで保護者向けのペアレントトレーニング等の支援は行っていません。
非常時等の対応	③⑩	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご利用前に契約書や重要事項説明書の説明を通して、支援内容や利用者負担等についての説明を行っています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの悩みや相談は、常に受け付けていて、その都度できる範囲で助言や支援を行っています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度は保護者会を1度だけですが開催することができ、4名の保護者にご参加いただきました。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口は施設内に掲示し、契約時には書面を使い説明しています。苦情があった際は、市役所・相談支援事業所に報告し、速やかに全職員で内容共有と業務改善に取り組みます。
	③⑭	定期的に会報を発行し、活動概念や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月20日に翌月の行事予定表を配布しています。また保護者専用のホームページにて活動概念等を発信しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			全職員と秘密保持契約を結んでいます。また施設見学を希望する方は、利用児童がいない時間帯で案内するなど、施設内では職員・保護者以外と会うことがないように注意しています。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障がいの特性に合わせた意思の疎通や情報伝達を心がけています。難しさを感じた際は保護者と連携して行っています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業所運営を図っているか	○			開所後暫くはコロナ感染症拡大予防の観点から控えていましたが、地域と連携を図った活動を行うなど、地域密着の事業所運営を図っています。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルは策定しており、職員間で確認やチェックができる体制を整えています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年一回以上の研修を実施しています。虐待防止委員会を設置し、責任者として虐待防止マネージャーを配置しています。

④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、身体拘束を必要とする利用児童はいないため放課後等デイサービス計画への記載もありません。身体拘束が必要な利用児童と契約する前に、利用児童ならびに保護者への事前説明を行い了解が得られた場合、市町と相談支援事業所と連携を取った上で放課後等デイサービス計画へ記載します。
④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に保護者から申告のあった食物アレルギー等はシステムへ入力し、当日利用児童の中に何名アレルギーがあるか、その内容は何かを表示するようになっています。確認漏れがないよう気を付けながら対応しています。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○		先日初めてヒヤリハットが発生したため、緊急職員会議を開いて全体共有した上で、改善策を策定し、即日実施しました。今後は事例集を作成し、いつでも職員が閲覧できるよう管理していきます。